



令和7年度がスタートしました

南青葉台自治会員の皆様、会長任期最終年を務めさせていただきます播磨です。振り返ってみると、1年目はいろんなことがわからないなか、相談役や顧問の力を借り自治会員の皆様のご支援とご協力で乗り切れたと感謝申し上げます。

令和7年度も基本姿勢は引き続き、

- ① 自治会員の皆様が安心して楽しく過ごせる住み良い街づくり
- ② 若い世帯の移住先に選ばれる街づくり
- ③ 地域の皆様の心がかよいあう街づくりと、考えております。

安心して楽しく過ごせるように、南海トラフ巨大地震が発生した時、一時避難所になる自治会館での避難生活対策や防災本部を設置する自治会館の通信能力向上を進めてゆきます。また、住民のみなさんを困らせている野良猫対策もボランティアチーム、行政、住民と一緒にすすめてゆきます。また、ある調査資料『自治会の活動で感じるストレス』によると第1位が役員になること、第3位が清掃活動への参加、第8位が回覧板を回すこととなっており、順位はともかく高齢化が進む南青葉台自治会もこのままでは自治会離れにつながりかねないので、役員用業務ソフトの開発やIT化、作業の外注化や断捨離を検討してゆきます。

若い世帯の移住先に選ばれるよう、子どもお祝い関連やハロウィン、クリスマス会など子どもふれあい活動いっぱいの南青葉台の魅力をホームページ等でより頻繁に発信してゆきます。

地域の皆様の心がかよいあう場の提供として、本年度も納涼祭、ひだまりテラス、各種セミナーの開催を行っていきます。

役員、事務局、委員一丸となって街づくりに取り組んで参りますので、会員の皆様には、より一層のご支援、ご協力、ご参加をお願いいたします。

自治会長 播磨 清

加賀田地区の民話 第24話

今回は、加賀田村発祥の頃のお話を、ご紹介しましょう。

「チザ（血座）ここら昔から座ありましてな、その座をチザ（血座）ゆいますんや。このな、加賀田村は、村が始まったときの家が七十軒しかなかったんやゆいますんや。その時分、ここら河内国錦部郡加賀田村とゆうておって、その七十軒の人たちで血座をこしらえたんやちゅうことですねん。

チザゆうたら、血の座って書くんですな。その七十軒の家の男の血を引いた系統の家の男だけしか、資格ないわけだんねや。これは加賀田の村の発生の根本の話になるっちゅことすな。加賀田神社の座はチザゆいますな。昔からずっと続いてるわけすわ。血座に入ってる家で女の子しかでけんで、婿養子もらう場合に、血座と関係ないところから養子さん貰うと、そこでその家の血座はもう切れてしまうんですわ。せやけど女の子しかでけんでもな、血座の家から養子さん貰うたら、血座復活できるわけすんや。血座の家からインキョ（分家）したら血座にはいれるわけでんな。

ほんで、血座は加賀田神社で正月八日に、八時から始まるんやけど、講員（座のメンバー）が中に入って幕を下ろすと、他の人は絶対に入れまへんね。その血座の講員だけで座の行事をやるわけすわ。（中略）これ、正月の八日にやりますからな、ヨウカザ（八日座）ちゅいますんや。この八日座ゆんを血座の人たちが昔から嚴重に受け継いでやってきてるわけすんや。

平成4年刊行「加賀田地区の民話」市教育委員会発行より抜粋

自治会の活動状況と予定

*実績

3月 1日	防災セミナー I・Jグループ (防災委員会)
3月 9日	定例役員会 防犯委員会
3月20日	廃品回収
3月22日	広報委員会
3月23日	会館委員会 環境衛生委員会
3月26日	堺市防災センター体験学習 (防災委員会)
4月12日	福祉委員会総会
4月13日	定例役員会 青少年健全育成会総会
4月17日	廃品回収
4月20日	自治会総会
4月27日	防災委員会総会

*予定

5月11日	定例役員会
5月15日	廃品回収
6月 8日	定例役員会
6月19日	廃品回収

廃品回収は 第3木曜日です



編集後記

防災セミナーで防災委員の方が能登半島地震支援活動に従事された体験談をお聞きしました。その中で一番苦労するのは、トイレと生活用水との事でした。南海トラフ巨大地震も今後30年間で80%の確率で来ると修正されました。筆者も災害の備えを今一度再確認を行いました。また、セミナーでの災害用伝言板（web171）体験実習やレジ袋での応急手当方法は大変役に立ちました。

～防災セミナーに参加して～

昨今は本当にあちこちで、災害に見舞われた様子を目にするようになりました。その多くが今までに経験したことが無いと語られ、それを聞き、今までは無くても今日起こるかも!! それはテレビの向こうの話ではなく、他人事ではないと思われた方も多いのではないのでしょうか。

セミナーの内容は

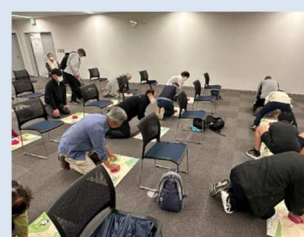
- ① 実際に発災現場に何度も足を運んだ隊員の方の話を、写真と共に状況を確認。
- ② 家族や知人等の安否確認の方法を体験
- ③ 身近な物で応急手当する方法

災害に見舞われた時その場の自分が命を守るためにどんな行動をとれるのか? 備えと対策は日々の暮らしの中に組み込むべき最も重要な事だと思いました。定期的に行われている防災訓練などで、実際にやって身体で覚えないと頭で覚えているのとは違います。ちなみに僅かな備えですが、リュックに防災用品、枕元には靴と懐中電灯、そして簡易トイレと飲料水を備蓄。



～防災体験学習に参加して～

3月26日堺市総合防災センターに行って来ました。子どもと大人を合わせて17名参加。『真・体験コース』を受講し、気づき→学び→実践で災害時に必要な知識と技術を学びました。地震体験で直下型震度7の揺れを体感し、バーにはつかまってもあまりの揺れに立ってられないほど。次は煙と真っ暗な中での避難、さすがに右も左もわからない中で行動する難しさに戸惑いましたが、壁と誘導灯をめざして出口へと行く。消火器は15秒しか出ないことや救急車が到着するまで8分はかかるなど。参加した子どもたちは地震や水害について詳しくなった。災害が起こった時に対処する方法が分かった。今日参加して良かった。来られなかった人は残念と。今回で2回目の大人の人も何度でも体験学習しておく事は良い事だ。実施して下さい防災委員会の方々へ感謝です。体験してわかる事がたくさんありました。



南青葉台にピカピカの１年生７名が誕生！

穏やかに晴れた４月４日、河内長野市では令和７年度の小学校入学式が行われました。地元の石仏小学校でも２５名、その内南青葉台からは７名の新１年生が入学しました。

校門脇の満開の桜に迎えられ、保護者と一緒に嬉しそうに校門をくぐって行く姿は、誰の目にも微笑ましく映りました。

入学式では、一人一人の名前が読み上げられ元気よく「はい」と返事して手を挙げて起立、大きな声のお子さんや緊張から小さな声しか出ないお子さんもいて、とても心温まる式典でした。

その後、自治会員の５名のお宅を訪問し入学のお祝い（図書カード）を手渡し、「入学式緊張しましたか？」と尋ねますと「全然緊張しなかった。」「楽しかった。」と元気に答えてくれて、頼もしく感じました。こんな彼らを地域の大人たちで見守り育ていかなばとの思いを新たにしました。



令和７年度 地域のお困りごと相談など

内 容	担 当 役 員	窓 口
転入・転出・逝去・入会・退会などの届出	洞下事務局長	班長
防犯灯切れや交通安全に関すること	永江防犯委員長	防犯委員・班長
自治会館の利用申込（会館利用予約）	吉田会館委員長	杉山副委員長
（自治会所有地）駐車場の一時貸出		岩本副委員長
ごみネットの交換、ボランティア袋の補給	防作環境衛生委員長	環境衛生委員
廃品回収は第３木曜日９時までに家の前を出して自治会活動資金にご協力ください		